

## 日本鉄鋼協会記事

### 理事会 (第6回)

開催日: 昭和40年9月22日. 場所: 協会々議室. 出席者: 湯川会長他40名.

#### 会議事項

1. 標準試料委員会報告  
同委員会で立案した日本鉄鋼標準試料の整備拡充計画案を承認し早速実行にかかることを決定.
2. 企画委員, 研究委員の解嘱, 委嘱および編集委員の委嘱.
3. 会館資金積立金取扱規定に関する件  
新たに規定を設け資金繰上必要あるときは流用しうることとなつた.
4. ベネゼラ金属工業会が本会を associate member に推薦の件受諾することを決定.
5. “鋼の高温性質” 会議に関する件  
1966年4月英国で開催の同会議に作井クリープ委員会技術部会長を派遣することを決定.
6. 炭鉄共同体鉄鋼会議に関する件  
本年10月末ルクセンブルグにおいて開催, 日本からの講演者として仲東大教授を推薦.

### 企画委員会

第6回委員会 開催日: 昭和40年9月6日. 場所: 協会々議室. 出席者: 辻畑委員長他17名.

#### 会議事項

1. 昭和41年度事業計画に関する検討  
事務局素案説明に続き予算と関連し種々意見が述べられ次回以降さらに検討することになった.
2. 表彰奨励候補推薦小委員会報告  
毎日工業賞に対し日本鋼管の「LDの自動制御」日本製鋼所の「原子炉用超厚板」の2件を推薦. 借成学術奨励金受領候補者については早大鑄研の渡辺氏を推薦した.
3. 昭和41年度秋季大会開催地に関する件  
京都を第1候補として準備を進める.
4. “鋼の高温性質” 国際会議に関する件  
1966年4月開催で作井技術部会長の派遣を了承.

### 研究委員会

第6回委員会 開催日: 昭和40年9月13日. 場所: 協会々議室. 出席者: 今井委員長他17名.

#### 会議事項

1. 基礎研第3回運営委員会経過報告  
微量元素グループは試験方案を発送. 非金属介在物分科会は鋼塊溶製済, 純鉄グループは勉強会の準備完了.
2. 基礎研非金属介在物部会状況報告  
前期は分科会4回, 小委員会5回を開催し, 試験方案を確立した.
3. 41年度鉱工業補助金対象研究として事務局は基礎

研での事業, 共研設備技術部会の事業, および大型疲労試験の3件について取り上げたが詳細は次回検討する.

4. 講演会, 講習会に関しては講演会から着手し, アンケート結果より事務局でプログラムを組み, 次回の委員会前に各委員の意見を聞いておく.

### 編集委員会

第7回委員会 開催日: 昭和40年9月15日. 場所: 協会々議室. 出席者: 荒木委員長他13名.

#### 会議事項

1. 論文審査報告  
報告数4件, 掲載可2件, 修正のため返却2件.
2. 第52年第1号(1月号)掲載原稿選定  
展望, 論文4件 技術資料 選定済み.
3. 編集委員の増員について  
田中良平氏(東工大), 阪部喜代三氏(日本製鋼所), 鈴木正敏氏(金材研)の三氏の推薦があり, 正式な手続をとることになった.

### 第2回シンポジウム小委員会

開催日: 昭和40年9月20日. 場所: 協会々議室. 出席者: 堀川小委員長他6名.

#### 会議事項

1. 第71回講演大会討論会テーマ部変更について  
製鋼関係テーマ  
旧) 純酸素上吹転炉製鋼法における脱磷・脱硫の機構  
新) 純酸素上吹転炉製鋼法における酸化反応の機構
2. 司会者選定について  
三本木貢治氏, 佐野幸吉氏, 今井勇之進氏, 長谷川正義氏に依頼することになった.

### 欧文誌編集委員会

第3回委員会 開催日: 昭和40年9月27日. 場所: 協会々議室. 出席者: 荒木委員長他14名.

#### 会議事項

1. vol. V No. 1 の講評
2. vol. VI No. 1 の原稿選定  
(1) 訪ソ特殊鋼視察団報告書をまとめて掲載する.  
(2) “東海製鉄(株)の成立経過について”(渡辺義介賞受賞記念論文)を掲載する.
3. 論文のカラー写真は特に必要と認めた場合掲載する.

### 資料委員会

第22回委員会 開催日: 昭和40年9月17日. 場所: 協会々議室. 出席者: 草川委員長他14名.

#### 会議事項

1. 協会ニュースを今後どのようにするか討論を行な

つたが次回再度検討し、今後も続けていくか、または別の形式から発行するかについて討論したが、問題点を掘り下げ今後の行き方をきめることにした。

- 2. 再度、討論を続けてきた U.D.C. 問題につき初めての試みとして、「鉄と鋼」の論文に U.D.C. をつけ、その分類について検討したが、次回引き続き上記作業を行ない問題点の検討を行なう。

造船協会賞受賞者決定

造船協会の依頼により先に本会から推薦の論文「大型クランクアームの型入鍛造型」((株)日本製鋼所鍵和田所長)が造船協会賞および日本海事協会賞を受賞した。

新技術開発部会長決定

遠藤前部会長の死去により、新部会長に東京大学教授(東京大学生産技術研究所) 雀部高雄氏が就任した。

共同研究会  
製鋼部会

在京幹事会 開催日: 昭和40年9月2日および10日.  
場所: 協会々議室. 鉄鋼連盟会議室. 出席者: 甲斐幹事他7名.

会議事項

- 1. Meeting on Engineering Experience in Basic Oxygen Steelworks, London, April, 1966. 参加の件  
8月初旬イギリス鉄鋼協会から招待状が届いたので今回これを検討、9/10の第2回会合で、八幡、富士、鋼管、川鉄、神鋼の参加が決つた。
- 2. 次回部会(11/10, 11室蘭)での特別議題として、「溶鉄の事前処理について」を採ることとした。

熱経済技術部会

幹事会 開催日: 昭和40年9月1日. 場所: 協会々議室. 出席者: 桑畑副部会長他13名.

計測部会

幹事会 開催日: 昭和40年9月15日. 場所: 協会々議室. 出席者: 磯部副部会長他10名.

品質管理部会

第14回委員会 開催日: 昭和40年9月10, 11日.  
場所: 富士製鉄室蘭製鉄所. 出席者: 辻畑部会長他50名

会議事項

- 9月10日  
午前「リクエスト複数製鉄におけるQC」による八幡住金、神鋼からの報告発表。  
午後。東大石川教授の特別講演  
「アメリカにおけるQC状況について」  
。統一議題「品質保証」による各社報告
- 9月11日

午前 富士鉄室蘭製鉄所におけるQC実施状況について  
午後 富士鉄室蘭製鉄所見学

調査部会

幹事会 開催日: 昭和40年9月17日. 場所: 協会々議室. 出席者: 齊藤幹事他15名.

幹事会 開催日: 昭和40年9月25日. 場所: 協会々議室. 出席者: 齊藤幹事他10名.

調査部会合同調査担当者会議

開催日: 昭和40年9月28日. 場所: 竜名館. 出席者: 14名.

新技術開発部会

第5回将来の高炉によらざる製鉄法小委員会

開催日: 昭和40年9月21日. 場所: 協会々議室. 出席者: 雀部小委員長他17名.

会議事項

講演

- (1) 資源関係の市場  
。鉄鉱石 富士製鉄 松田部長  
。エネルギー(資料のみ)
- (2) 鋼材関係の市場  
。鋼材に対する需要者の要求 鉄連 飯島課長  
。競合物資の出現と両者の補完ならびに競合 富士製鉄 内田課長
- (3) 生産技術の動き  
。世界における新製鉄法に関する動き 富士製鉄 高橋副長  
。高炉生産技術の発展 八幡製鉄 橋本部長

第3回シャフト炉法小委員会懇談会

開催日: 昭和40年9月17日. 場所: 日立金属工業(株)安来工場. 出席者: 田畑専務理事他6名.

会議事項

講演

- (1) 安来海綿鉄とこれを用いた特殊鋼の特性 日立金属工業安来工場 中村信夫
- (2) シャフト炉による海綿鉄製造法のガスおよび熱の所要量について 日曹製鋼 研究部 佐藤良吉
- (3) 硫酸焼鈍ペレットの還元による強度の変化について 矢作製鉄 研究部 杉浦卓

なお当日は台風のため、主査、小委員長欠席のため懇談会となった。

標準化委員会

第4回委員会 開催日: 昭和40年9月3日. 場所: 協会々議室. 出席者: 作井委員長他23名.

会議事項

1. 幹事会経過報告
2. 本年度発足の分科会の承認
3. 鉄鋼技術講座編集に関する経過報告
4. 鉄鋼材料規格使用実態調査に関する経過報告
5. 標準化委員会予算について事務局原案を承認した。
6. 工業標準調査会鉄鋼部会について、今年改正の委員紹介を行なった。

### 鋼管分科会

**第4回分科会** 開催日：昭和40年9月30日。場所：住友金属東京支社会議室。出席者：下川主査他14名。

#### 会議事項

1. 吉田氏（協会）ISO 国際会議（ボイラー用鋼材）出席報告
2. 構造用鋼管専門委員会  
土木用大径鋼管の寸法許容差に関するメーカー側打合せおよび建設省担当者との意見交換を行なった。

### ブリキ分科会

**第2回分科会** 開催日：昭和40年9月14日。場所：協会々議室。出席者：有賀幹事他11名。

#### 会議事項

本年10月開催される ISO TC17 (Tin Plate and Black Plate) 国際会議に日本より酒井氏（鋼管，水江）が出席されるのでこの準備として日本 Comment 作成の経過説明および各国 Comment に対する日本意見のとりまとめを行なった。

### 普通鋼分科会

**第5回分科会** 開催日：昭和40年9月28日。場所：協会々議室。出席者：本山主査他21名。

#### 会議事項

1. ISO/TC17/WG10-TC11/SC1 共催会議出席報告
2. 今後の分科会活動について。

### 機械試験方法分科会

**第2回分科会** 開催日：昭和40年9月28日。場所：協会々議室。出席者：吉沢主査他18名。

#### 会議事項

1. 高温機械試験に関する document No. 729 に対するクリープ委員会の意見および当会委員の意見につき検討した。extensionおよび試験速度に問題が残っているため再度クリープ委員会の意見を聞いてから回答を作成することにした。
2. 試験法を部門別に分け委員の担当部門を決定した。

今後は担当部門の Recommendation を検討して問題点を取り上げ、JIS の見直しに役立たせる。

### 焼入硬化層分科会

**第1回分科会** 開催日：昭和40年9月16日。場所：協会々議室。出席者：小犬丸主査他10名。

#### 会議事項

草案作成にあたって

焼入硬化層および誘導硬化層測定方法工業標準原案のための草案作成基本条件に関するディスカッション

### 熱処理用語原案作成分科会

**第1回分科会** 開催日：昭和40年9月10日。場所：協会々議室。出席者：佐藤主査他13名。

#### 会議事項

1. 第1回分科会のため、工技院木下氏より当会設置の経緯、目的、原案作成の期限などにつき説明があり、続いて全委員自己紹介を行なった。
2. 運営方針としては ①用語をえらぶ、②説明をつける。③規格の形にまとめる。の三段階に分け、次回(12月22日)までに①を完了させる。その方法は各委員の担当をきめその範囲内で考えられる用語をすべて網羅し、事務局で整理して、更に委員の意見を聞く。この結果について次回検討する。

### バネ鋼原案作成分科会

**第1回分科会** 開催日：昭和40年9月8日。場所：協会々議室。出席者：河田主査他13名。

#### 会議事項

アンケート集計結果報告ならびにその問題点（徳梅）今後の運営方法  
委員に推薦が来ていないものを、あたっておく。

### 鉄鋼基礎共同研究会

**第3回運営委員会** 開催日：昭和40年9月13日。場所：協会々議室。出席者：三島委員長他12名。

#### 会議事項

1. 各グループの報告  
微量元素については今井世話人からアンケートが寄せられ、Nb の取扱いについて検討中。溶鋼・溶滓については、松下委員と斎藤委員が打合せを持つ。純鉄については作井委員と草川幹事がグループ作りについて準備中。
2. 非金属介在物分科会は、「リムド鋼中の介在物の研究」が軌道に乗ったため、規程にあるごとく、部に昇格した。委員構成は、主として大学関係者が指導委員、会社関係者は委員と称することとなった。
3. 来年度の研究テーマ・予算について各責任者から意見が出された。

### 鉄鋼標準試料委員会

**第16回委員会** 開催日：昭和40年9月9日。場所：協会々議室。出席者：池上委員長他23名。

#### 会議事項

1. 新委員の紹介  
大同製鋼足立委員が前回承認された新委員に追加された。
2. 新標準試料製造分担について  
分担について種々問題点が出たので在京委員会にて検討することになった。
3. 今後のスケジュールについて  
分担鋼種が決り次第消費者に仮註文を取りその概数を maker に連絡し製造してもらう。
4. 分析分担について
5. 新試料の番号（案）について
6. その他  
名古屋大学、工業技術院に新委員に参加してもら

うことになった。

### 試験高炉委員会

**第16次操業結果討論会** 開催日：昭和40年9月30日。  
場所：竜名館。出席者：山本幹事他11名。  
会議事項

1. 東大試験溶鋳炉第16次操業結果報告に対するアンケート回答取りまとめ結果の報告および質疑応答
2. 第17次操業に対する各社希望、質疑応答  
第17次操業については時期が時期なので大きなものは望めないが第16次に沿って進めたいという意見が多かった。

### 国内炭活用製鉄用コークス

#### 製造試験委員会

開催日：昭和40年9月14, 15日。場所：八幡製鉄所，  
本事務所。出席者：久田委員長他35名。

### クリープ委員会

**第3回幹事会** 開催日：昭和40年9月11日。場所：協会々議室。出席者：俵，作井副委員長他11名。

#### 「高温引張試験法」原案分科会

**幹事会** 開催日：昭和40年9月8日。場所：京都大学工学部。出席者：平主査他6名。

#### 内圧円筒クリープ試験機分科会

**第1回分科会** 開催日：昭和40年9月30日。場所：協会々議室。出席者：作井部会長他14名。

#### 会議事項

内圧円筒クリープ試験機に関する各会社の実施状況およびその防護方法について打合せを行ない，アンケートによつて各社の希望を取りまとめることとなつた。

### クリープ試験技術研究組合

#### 運営委員会

**第21回幹事会** 開催日：昭和40年9月22日。場所：協

会々議室。出席者：俵委員長他7名。

### 技術委員会

**第33回委員会** 開催日：昭和40年9月30日。場所：協会々議室。出席者：平委員長他18名。  
会議事項

1. 39年度応用研究共同試験について  
各社の実施状況の中間報告が行なわれた。
2. 40年度共同研究試験計画について  
シングルタイプクリープ試験機36台を用いて  
6,000時間の寸法効果の検討を行なうことが諒承された。

### 鉄鋼照射試験研究合同委員会

**第7回立会者連絡会** 開催日：昭和40年9月7日。場所：仙石原石川島播磨箱根クラブ。出席者：長谷川委員長他16名。

**第14回合同委員会** 開催日：昭和40年9月20日。  
場所：協会々議室。出席者：長谷川委員長他23名。  
会議事項

1. 三菱原子力経過報告  
第1次照射10月25日より実施される。第2次は現在のところ11月22日より引続き実施される。
2. 39年度研究報告  
日立造船より報告があつた。
3. 40年度試験  
炉外試験の自発的研究につき次回より各社アンケートを行なう。

#### 「鉄鋼の照射効果」に関する講演会

開催日：昭和40年9月21日。場所：神田学士会館。出席者：長谷川委員長他50名。  
会議事項

材料破壊国際会議（於仙台）に出席された。ニコルズ氏（英国国立原子力研究所），ベフセル氏（GE），サリバン氏（米海軍研究所）の3人が「鉄鋼の照射効果について」講演を行なつた。

### 新入会員氏名

（昭和40年9月1日～9月30日）

正 会 員		新 入 会 員 氏 名		新 入 会 員 氏 名	
林 史郎	八幡製鉄(株)	金山 有治	富士製鉄(株)室蘭	金谷 邦彦	日本ステンレス(株)
福田 宣雄	〃 戸畑	菅原 郁夫	日本特殊鋼(株)	吉沢 武男	東京大学工学部
荒木 知英	日新製鋼(株)呉	武田 進	日本ターコプロダツ(株)	学 生 会 員	
金屋 敷弘	〃 〃	川畑 紀雄	日本金属工業(株)	渡部 哲也	芝浦工業大学
衣笠 澄雄	〃 〃	青柳 忠正	プロオノックス・ジャパン(株)	外 国 会 員	
長田 欽也	川崎製鉄(株)	渡辺 明	電気学化工業(株)	Metalurski Institut	(Yugoslavia)
藤森 寛敏	〃 千葉	則武 輝邦	山里産業(株)	Ulric le Paige	(Belgique)
久保 幸雄	住友金属工業(株)	鷲津 英夫	日立エンジニアリング(株)	Joseph P. Skelly	(U. S. A.)
岡崎 卓	〃			Guest Keen Iron	(Great Britain)
辻本 信行	(株)神戸製鋼所高砂			& Steel Works	(大韓民国)
				朴 通 源	

(昭和40年10月1日~10月31日)

維 持 会 員

船橋製鋼(株)  
 正 会 員  
 北山 実 富士製鉄(株) 広畑  
 佐伯 毅 // //  
 中村 韶 // //  
 原田 慎三 // //  
 戸来 稔雄 // //  
 杉田 公義 // 室蘭  
 塚本 行 // //  
 矢部 克彦 // 中研  
 松本 奏 八幡製鉄(株) 八幡  
 佐藤 叔孝 // //  
 土生 隆一 // 技研  
 小宮 陸紘 // 戸畑  
 武田 尚彦 // 東研  
 佐伯 啓三 // //  
 中川 勝 住友金属工業(株)  
 中技研  
 松永 省吾 // //  
 稻垣 義広 日本鋼管(株) 鶴見  
 武下 政治 // //  
 笹生 宏明 // 川崎  
 北井 宏明 川崎製鉄(株) 葦合  
 竹内 三郎 // 千葉  
 君塚 秀夫 住友機工(株)  
 中尾 藤吉 // //  
 梶本 将一 (株)利川製鋼  
 鄭 敬次 // //

佐野 信夫 関東特殊製鋼(株)  
 唐木 俊夫 日伸製鋼(株)  
 入沢 捷史 日本高周波鋼業(株)  
 高井 正二 鳳選鉄(株)  
 吉田 裕 日本冶金工業(株)  
 古田 照夫 日本原子力研究所  
 八木 琢夫 黒崎窯業(株)  
 高梨 薫 大江工業(株)  
 福井 浣一 石川島播磨重工(株)  
 坂口 新次 大同製鋼(株)  
 富沢 宣成 住鉄アイ・エスピー  
 (株)  
 首村 一誠 日本コンクリート  
 工業(株)  
 小松 登 (株)豊田中央研究所  
 松本 重喜 (株)神戸製鋼所  
 脇門 恵洋 愛知製鋼(株)  
 長谷川一郎 自動車铸件(株)  
 吉田 好道 三菱重工(株)  
 林 弘太郎 日本ウジミナス(株)  
 小森 英俊 九州大学工学部  
 白木 勝己 // //  
 中島 英俊 // //  
 木原 博 東京大学  
 田村 明 東北大学選研  
 学 生 会 員  
 荒木 徹也 九州大学工学部  
 井口 光司 // //  
 井本 達夫 // //

池田 賢郎 九州大学工学部  
 太田 正秀 // //  
 久保 進 // //  
 倉成 洋三 // //  
 島 儀三郎 // //  
 斉藤 泰郎 // //  
 滝田 道夫 // //  
 谷口 勲 // //  
 辻 正宣 // //  
 中村 秀樹 // //  
 馬場 昌喜 // //  
 樋口 輝晃 // //  
 広松 陸生 // //  
 水内 常博 // //  
 柳 義親 // //  
 山田 博石 // //  
 吉用 明敏 // //  
 津田 一如 東北大学工学部  
 土屋 正行 東北大学院工学研究科  
 早川 初男 // 工学部  
 梶山 隆安 早稲田大学理工学部  
 都築 稔 名古屋工業大学工学部  
 外 国 会 員  
 Ing. Adriano Carli (Italy)  
 Consett Iron Co., Ltd (England)  
 G. Viberg (Sweden)  
 Georg Fischer Ltd. (Switzerland)  
 R. B. Downs (U. S. A.)  
 William J. Miller (U. S. A.)